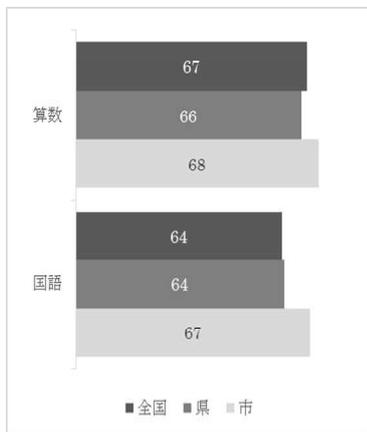


令和元年度全国学力・学習状況調査結果 田辺市概要

平成31年4月18日に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、小学6年生・中学3年生を対象とし、国語と算数/数学、英語（中学校）から構成されています。今年度からは、全ての教科において「知識・活用」を一体的に問う問題形式になったため、従来の「知識」に関するAと「活用」に関するBの区分がなくなっています。

◇小学校6年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の領域別正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○



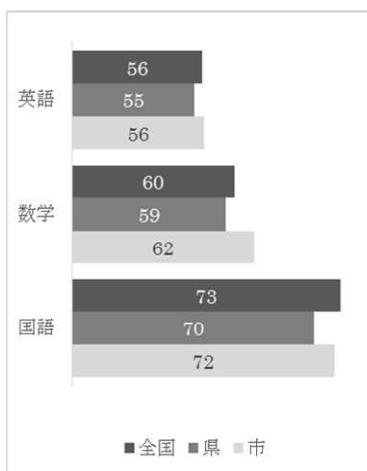
国語	県	全国	算数	県	全国
話すこと・聞くこと	◎	◎	数と計算	○	○
書くこと	◎	◎	量と測定	○	○
読むこと	○	◎	図形	○	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	○	数量関係	○	○

国語では、どの領域についても全国平均を上回っています。特に、『読むこと』の領域の平均正答率が高く、「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」については、正答率が9割を超えていました。全国でも正答率が低かった問題「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」については、全国を上回っているものの、正答率が5割を下回っていました。また、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」については、全3問とも全国を下回っていたため課題となっています。

算数では、田辺市において過去2年間課題であった「量と測定」については、改善が見られています。どの領域についても全国平均を上回っているものの、個々の問題では正答率の低い問題があります。『量と測定』領域の問題「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」や『数と計算』領域の問題「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」については、課題がありました。また、『数と計算』領域の問題「2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる」については、全国平均を唯一下回っていました。

◇中学3年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の領域別正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○



国語	県	全国	数学	県	全国
話すこと・聞くこと	○	○	数と式	◎	○
書くこと	◎	○	図形	◎	◎
読むこと	○	○	関数	○	◎
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	○	資料の活用	◎	○
英語	県	全国			
聞くこと	○	○			
話すこと（参考値）					
読むこと	○	○			
書くこと	○	○			

国語では、『書くこと』の領域については改善がみられ、全国平均に比べても上回っています。一方で『伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項』の領域の問題「封筒の書き方を理解して書く」については、全国でも課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。

数学では、どの領域についても全国平均を上回っています。特に、『関数』の領域については、大きく改善がみられます。ただし、その中の「グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる」では、全

国でも課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。

また、『資料の活用』の「資料の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」において、全国平均を上回っているものの、正答率が5割を下回り、無回答率も高くなっていました。

■学習状況調査の結果から

◇学校生活に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：%)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか	86.5	85.8	86.3	81.9
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	86.7	84.1	82.1	82.8

「学校へ行くのが楽しい」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と回答した子供が多くなっています。今後も子供たちが楽しく生活できる学級集団づくり、学校づくりをしていきます。

◇授業に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：%)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
自分たちが立てた課題に対して、自ら考え自分から取り組みましたか	75.0	77.7	73.2	74.8
発表するとき、資料や文章、話の組み立てなど工夫しましたか。	58.3	62.5	47.6	57.8
話し合いを通じて、考えを深め、広げることができていると思いますか	73.4	74.1	78.1	72.8

各校において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が行われています。今後は、書く活動や話し合い活動に取り組みせる際、「相手意識・目的意識・理由や根拠の明確化」を意識させた授業づくりをしていきます。

◇家庭学習に関すること

(「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合) (単位：%)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	74.0	71.5	48.3	50.4
授業時間以外に、平日、1日当たりどのくらい勉強しますか ※「2時間以上」と答えた割合(学習塾も含む)	21.4	29.3	27.4	35.5

家で自分で計画を立てて勉強していると答えた児童生徒の割合が増えています。今後も引き続き、児童生徒自らが計画を立てて学習できる力をつける取組を行います。

◇読書に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：%)

質問事項	小6		中3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
読書は好きですか	75.0	75.0	68.5	68.0
1日にどれくらいの時間読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※「1時間以上」と答えた割合	16.3	18.3	12.9	12.4
昼休みや放課後、休みの日に、学校図書館・学校図書室、地域の図書館にどれくらい行きますか※週に1回以上の割合	19.9	17.2	5.6	8.3

「読書は好き」と回答が多くいる一方で、読書にかかる時間や、図書館等の施設使用回数には課題あります。今後も、本を読むことは国語力の向上に結び付くと考え、読書や図書室・図書館の利用促進等を行います。

■各学校の取り組み例

- ・調査の分析結果をもとに、授業力向上のための研修を行いました。
- ・ドリル学習の成果を競い合い、基礎的な学力向上を図りました。
- ・家庭学習において、「自学ノート」に取り組み、学びを整理する力をつけるよう取り組みました。

■今後の取組

- ・教育委員会では、成果のあった学校の取り組みを分析し、各学校に周知します。
- ・各学校では、調査の分析結果をもとに、自校の取り組みを点検、改善を行います。